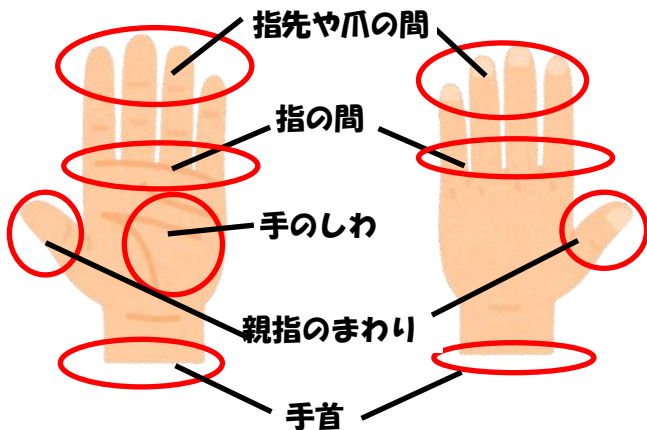


感染症対策 4つのポイント

手洗い・手指消毒

洗い残しの多い箇所は特に注意



タイミング



適切な个人防护具の使用

使用目的

- ・汗を除く全ての体液（血液・唾液・吐物・排泄物・粘膜等）に自分が触れない
- ・自分についた病原体を他の利用者や居室、職員へ広げない

ケアごとに使い分けを

- ・血液や唾液、粘膜等直接触れる場合は手袋
- ・咳やくしゃみ等飛沫にはマスクやフェイスシールド
- ・排泄物や嘔吐物等の飛散するようなものにはガウン
- ・痰の吸引等エアロゾルが発生する時はN95マスク

正しい着脱が大事

- ・着脱手順ポスターと鏡を見ながら行いましょう
- ・特に脱ぐ時に汚染面に触れないよう注意しましょう
- ・1つ外す毎にアルコール消毒を行いましょう



環境整備

部屋の換気

- ・1~2時間毎に5~10分程度、居室や食堂等を換気しましょう
- ・空調や換気設備は定期的に掃除・メンテナンスしましょう

よく手が触れる場所の消毒

- ・毎日時間を決めて、消毒薬を布等にしみこませてふき取りましょう
- ・拭き方は往復動作でなく一方向に
- ・スプレー噴霧は健康影響が生じる可能性があるのでやめましょう

※よく手が触れる場所：手すり、ドアノブ、スイッチ、ベッド柵、椅子のひじ掛け及び背もたれ、リモコン、洗面台、電話、パソコン、冷蔵庫のドア、備品 など



研修・訓練

- ・人間は1か月後、覚えた内容の**79%を忘れる**と言われています！
- ・職員一人一人が、感染対策について正しく理解し、適切に対応できるよう
- 定期的に研修、訓練を行いましょう
- ・感染対策を強化することで施設だけでなく、職員自身や職員の大切な人を守ることができます！